

令和5年度 第8回春日区地域協議会 次 第

日時：令和5年11月21日(火) 午後6時30分から
会場：上越市市民プラザ 第2会議室

1 時間程度

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 報告事項

- ・ 上越市春日山ペタンク場の廃止について

【5分】

(2) 自主的審議事項

- ・ 春日山城跡の観光振興策について

【45分】

(3) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認（予定）

【5分】

- 日時 令和5年12月19日(火) 午後6時30分から
- 会場 上越市市民プラザ第2会議室
- 内容 自主的審議事項：春日山城跡の観光振興策について

(2) その他

5 閉 会

令和5年度第8回春日区地域協議会
令和5年11月21日
3議題(1)報告事項
資料No.1



上教ス第5155号
令和5年11月7日

春日区地域協議会
会長 太田 一 巳 様

上越市長 中川 幹 太
(教育委員会スポーツ推進課)



上越市春日山ペタンク場の廃止について (通知)

令和5年10月18日付けで答申のあった諮問第24号:上越市春日山ペタンク場の廃止について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり上越市春日山ペタンク場を廃止することとし、令和5年上越市議会12月定例会に所要の条例案を提出します。



令和5年度第8回春日区地域協議会
令和5年11月21日
3議題(2)自主的審議事項
資料No.2

意見書(案)の具体提案事項

<第6回地域協議会…9月>

- 1 春日山周辺の道路、駐車場の問題と対策 (P1~P7)
 - ・春日山城の東側にある愛宕谷公園と公園から春日山神社に至る古道の活用。
 - ・かつて春日山城を行き来した大手道入口の車道拡幅、大手道公園の駐車場拡張やトイレの新設整備による利用促進。
- 2 監物堀や史跡保存エリアの活用によるフラワーパーク構想 (P8~P13)
 - ・監物堀の全容を明らかにし、堀や土塁を復元する。復元した堀にはカキツバタやスイレン、蓮を植栽し遊歩道を整備。
 - ・埋蔵文化財センター北側の史跡保存エリアの有効活用。買い上げられたエリアは水田だったので湿地に合うセリのクワイなどを栽培。アイガモを飼育して雑草の繁茂を予防する。
- 3 埋蔵文化財センターを「春日山観光ビジターセンター」に (P14~P16)
 - ・埋蔵文化財センターの用途を変更し、全面的に観光ビジターセンターにリニューアルする。保管されている土器などの埋蔵文化財の保管や発掘品の復元、トリミングは廃校となった学校を活用する。

<第7回地域協議会…10月>

- 4 春日山周辺に賑わいを招く「春日山楽市楽座」(P17~P19)
 - ・春日謙信交流館や埋蔵文化財センター、春日山神社境内などを利用した賑わいの創出。定期的な「朝市」「軽トラ市」、「フリーマーケット」、「クラフト作家展」などのイベント開催をして春日山周辺に賑わいをもたらす。
- 5 「春日山城」、「上杉謙信」にちなんだ銘菓、特産品の開発 (P20~P22)
 - ・春日山に定番のお菓子のお土産を。年に2日しか販売しない川渡餅の通年販売を企画する。現在の川渡餅の形状に工夫を加えて販売する。伊勢の「赤福」や加賀の「加賀福」に負けない銘菓を通年販売。

6 謙信公を題材にした「歌曲」や「演舞」、「紙芝居」などの芸術を創出し上越市を文化・芸術都市に（P23～P25）

- ・「上杉謙信の生涯」や「御館の乱」、「上杉景勝や直江兼統の生涯」、「直江状と関ヶ原」、「上杉家の家臣団」などを題材に歌曲などの創出と春日山の舞台（仮設）や文化会館、オーレンプラザなどで通年公演する。

_____ <第8回地域協議会…11月> _____

7 観光振興のための人材確保とプロジェクトの発足（P26、P27）

- ・観光ガイドの養成。
- ・越後上越上杉おもてなし武将隊や一義会の協力で、観光ビジターセンターや春日山神社で観光客を演武、武禊式、記念撮影などでもてなす。
- ・インバウンドへの対応。

8 春日山登山道の整備と将来構想（P28～P31）

- ・春日山の正面から見えないルートで愛宕谷公園～春日山神社～本丸～大手池公園の間にモノレールを敷設します。歩いて上がれない老人などのため。

春日区地域協議会意見書作成に係る各意見の整理事項

項目	町内会長連絡協議会、担当課意見	地域協議会全体会審議内容	追加、修正、重点箇所等の整理事項	優先順位
1 春日山周辺の道路、駐車場の問題と対策 (P1~P7) ・春日山城の東側にある愛宕谷公園と公園から春日山神社に至る古道の活用。 ・かつて春日山城を往来した大手道入口の車道拡幅、大手道公園の駐車場拡張やトイレの新設整備による利用促進。	〔町内会長連絡協議会〕利用客に十分な駐車場の確保とトイレの整備を。	・学校での利活用促進と次世代への歴史文化の継承 ・ウォーキングイベント等、金をかけないでできる集客イベントの仕掛けづくりが必要 ・案内看板の設置	・近隣の学校で十分利活用されており、理解もある。 ・ 「可能な限り投資を抑えて行える集客の仕組みづくり」を計画全体の念頭に置く ことを記載。 ・駐車場、トイレ及び看板の主な不足箇所、整備不足箇所を確認し、整備する必要があることを記載。	
2 監物堀や史跡保存エリアの活用によるフラワーパーク構想(P8~P13) ・監物堀の全容を明らかにし、堀や土塁を復元する。復元した堀にはカキツバタやスイレン、蓮を植栽し遊歩道を整備。 ・埋蔵文化財センター北側の史跡保存エリアの有効活用。買い上げられたエリアは水田だったので湿地に合うセリのクワイなどを栽培。アイガモを飼育して雑草の繁茂を予防する。		・継続できる組織・管理体制を整えなければ、観光資源とすることは困難 ・管理しやすい植物や樹木等の植樹	・ 観光資源の維持管理体制とその組織の構築が必要である旨と、資源の管理のしやすさの工夫を計画全体の念頭に置く ことを記載。	
3 埋蔵文化財センターを「春日山観光ビジターセンター」に(P14~P16) ・埋蔵文化財センターの用途を変更し、全面的に観光ビジターセンターにリニューアルする。保管されている土器などの埋蔵文化財の保管や発掘品の復元、トリミングは廃校となった学校を活用する。	〔文化行政課〕文化庁の補助金を活用しているため、用途変更を行うと補助金の返還が生じる。新規に施設を建設することと、補助金を返還の上、埋蔵文化財センターを改修し、さらにセンター機能を移転することのどちらが安価かを比較する必要がある。 〔魅力創造課〕現在、春日山エリアで食事を提供し頑張っている店舗と共存することが重要。	・ビジターセンターへの転用について、市担当課からの回答を踏まえ、代替案を考えるべきでないか。	・「埋蔵文化財センターの用途変更」を提案することにより意見を狭めるのではなく、観光ビジターセンターの必要性と、 「最小限の投資で最大限の効果」を生み出してほしい ということに留める。	
4 春日山周辺に賑わいを招く「春日山楽市楽座」(P17~P19) ・春日謙信交流館や埋蔵文化財センター、春日山神社境内などを利用した賑わいの創出。定期的な「朝市」「軽トラ市」「フリーマーケット」、「クラフト作家展」などのイベント開催をして春日山周辺に賑わいをもたらす。				
5 「春日山城」、「上杉謙信」にちなんだ銘菓、特産品の開発 (P20~P22) ・春日山に定番のお菓子のお土産を。年に2日しか販売しない川渡餅の通年販売を企画する。現在の川渡餅の形状に工夫を加えて販売する。伊勢の「赤福」や加賀の「加賀福」に負けない銘菓を通年販売。	〔魅力創造課〕限定した商品となると、販売している菓子組合への意見となるが、「見よう、食べよう、学ぼう」というような、通常観光地で楽しみたいことを春日山で少しでもできるとよい。	・土産物として利便性の良い商品(賞味期限が長いなど)の開発が必要。		
6 謙信公を題材にした「歌曲」や「演舞」、「紙芝居」などの芸術を創出し上越市を文化・芸術都市に (P23~P25) ・「上杉謙信の生涯」や「御館の乱」、「上杉景勝や直江兼統の生涯」、「直江状と関ヶ原」、「上杉家の家臣団」などを題材に歌曲などの創出と春日山の舞台(仮設)や文化会館、オーレンプラザなどで通年公演する。				
7 観光振興のための人材確保とプロジェクトの発足 (P26、P27) ・観光ガイドの養成。 ・越後上越上杉おもてなし武将隊や一義会の協力で、観光ビジターセンターや春日山神社で観光客を演武、武禊式、記念撮影などでもてなす。 ・インバウンドへの対応。				
8 春日山登山道の整備と将来構想 (P28~P31) ・歩いて上がれない老人などのため、春日山の正面から見えないルートで愛宕谷公園~春日山神社~本丸~大手池公園の間にモノレールを敷設する。	〔地域協議会※担当課による質問の回答〕どのような方でも行くことができる場所にしたい。モノレールの設置を提案しているが、シャトルバスの運行などでもよい。		・1と併せ、高齢化への配慮やインクルーシブ教育のため 誰もが歴史や文化に触れられるよう整備を進める ことを記載。	

〔意見の整理について〕

- ・提案事項が盛りだくさんであり、焦点がぶれてしまう可能性がある。協議会が行政へ投げかけるべき意見はお金でなく人を動かすためのものである。

意見書の構成

前文

1 審議テーマとするまでの経緯

- ・前期委員が分析した課題を継続して審議していく必要があると考え、分科会にて具体的に検討。
- ・令和3年11月に、次のとおり審議概要を整理、協議を開始した。

・国指定の史跡である春日山城跡は、日本百名城にも数えられ、県内外から観光客が訪れる当市有数の観光スポットであるが、観光地として十分に活用されているのか疑問がある。

・また、史跡の保存や整備については、地域の団体の力に頼るところが大きく、市の姿勢が消極的ではないかと感じられる。

⇒このような状況を踏まえ、春日山城跡の「観光地としての魅力向上」や「市民を巻き込んだ環境整美」などにより、春日山城跡の観光振興策について検討する。

2 春日山観光に関する地域の想いや活動

- ・ //
- ・春日山城跡保存整備促進協議会は「春日山のために自分たちでできることを担いたい」との思いから、草刈り等の活動を行っている。
- ・青少年育成協議会で「春日愛」を掲げ、中学生が中心となり、春日山城跡での保全活動や謙信公祭への参加を通じて地域への愛着や連帯感、帰属感を高める活動を行っている。 …など

春日山や上杉謙信公にまつわる歴史や文化が、春日区住民等の地域愛や地域活動に直結しており、春日区の活性化の重要な要素であると言える。

市内外からこれらの地域資源を觀に春日山付近に多くの人が訪れ、盛り上がりを見せることが春日地域の活動の原動力の一部になり得る反面、現在の春日山周辺整備状況では、道路状況や駐車場不足から交通渋滞等も課題となっている。

これらのことから、住民の生活基盤を損なうことなく、市民が憩い、観光客が楽しめる春日山城跡を中心にした観光振興策を進める必要がある。

本文

3 全体共通事項（協議会全体会での意見）

- ・管理のしやすい観光資源の発掘と、その維持管理体制、組織の構築
- ・最小限の投資で最大限の効果を生み出す集客の仕組みづくり
- ・誰もが歴史や文化に触れられるよう整備を進める

4 意見書本文（提案事項）

「具体事項」から、重要度、優先順位等を考慮して構成し、簡潔にまとめる（事務局で案を作成）

添付

5 具体事項

別紙